

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 5 部門第 2 区分
【発行日】平成 17 年 8 月 4 日 (2005.8.4)

【公開番号】特開 2003-222197 (P2003-222197A)
【公開日】平成 15 年 8 月 8 日 (2003.8.8)
【出願番号】特願 2002-18564 (P2002-18564)
【国際特許分類第 7 版】

F 1 6 G 5/16

【F I】

F 1 6 G 5/16 G

【手続補正書】
【提出日】平成 16 年 12 月 27 日 (2004.12.27)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 2 1
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0 0 2 1】

図 1 は、本発明に係る高負荷伝動ベルト 1 の一例を示す斜視概略図であり、図 2 はその側断面図である。本発明の高負荷伝動ベルト 1 は、エラストマー 4 内にロープ状の心体 5 をスパイラル状に埋設してなる同じ幅の二本の張力帯 3 a、3 b と、この張力帯 3 a、3 b の、上面に所定ピッチで形成された凹部 6 に嵌合し、係止固定されている複数のブロック 2 とから構成されている。このブロック 2 の両側面は、プーリの V 溝と係合する傾斜のついた面となっており、駆動されたプーリから動力を受け取って、係止固定されている張力帯 3 a、3 b を引張り、駆動側プーリの動力を従動側プーリに伝動している。

【手続補正 2】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 3 7
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0 0 3 7】

請求項 5 によると、今まで説明したように摩擦係数低減材 4 1 をエラストマー 4 0 や R F L 処理液中に配合して、カバー帆布 6 に付着・含有させたものの上に、更に摩擦係数低減材 4 3 をエラストマー 4 2 に配合した第 2 のエラストマー層 4 4 を積層配置するものである（図 5）。このように摩擦係数低減材 4 3 を含有した第 2 のエラストマー層 4 4 を配置することによって、最初に第 2 のエラストマー層 4 4 により摩擦係数を低減する効果を得ることができるので長期に渡って効果を持続することができる。